

**2021年度第2四半期決算
および
2021年度通期業績予想
(決算補足説明資料)**

2021年10月29日

三谷産業株式会社

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。したがって、本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってください。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

COPYRIGHT 2021© MITANI SANGYO CO., LTD.

2021年10月29日(金)

2021年度第2四半期決算および2021年度通期業績予想
決算補足説明資料

会社概要

| | |
|----------|----------------------------|
| 社名 | 三谷産業株式会社 |
| 創業 | 1928（昭和3）年2月11日 |
| 設立 | 1949（昭和24）年8月11日 |
| 代表者 | 代表取締役社長 三谷忠照 |
| 本社所在地 | 金沢本社：石川県金沢市 / 東京本社：東京都千代田区 |
| 資本金 | 48億8百万円 |
| 従業員数 | 連結：3,763名 / 単体：599名 |
| 上場証券取引所 | 東証・名証一部（証券コード：8285） |
| 連結子会社 | 23社（国内：13社 / 海外：10社） |
| 発行可能株式総数 | 220,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 61,772,500株 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 16,044名 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |



金沢本社



東京本社

（2021年9月30日現在）

COPYRIGHT 2021© MITANI SANGYO CO., LTD.

首都圏・北陸・ベトナムで6つの事業領域を展開 事業間のシナジー創出や新たな事業創出にも取り組む

商社機能とメーカー機能を活かした複合解決力で、お客様とともに課題を解決。新たなマーケットを開拓します。

化学品

安心・安全なエネルギーの安定供給を担い、限りある資源を有効活用できる仕組みを提案します。

エネルギー

“良品しかつけない製造工程”を確立。高難度ユニット自動車部品の一貫生産体制を構築します。

樹脂・
エレクトロニクス

お客様にとって豊かで快適な住空間を提案し、上質な住まいづくりに貢献します。

住宅設備機器

一歩先を見据えたICTソリューション・サービスを提供し、お客様とともに経営課題を解決します。

情報システム

企画・設計・施工力を活かして、お客様にとって心地よく、環境にやさしい快適空間を提供します。

空調設備工事

セグメントをつなぐ事業

・オフィスのあらゆる業務支援で働く人を元気にします。
・ベトナムでの業務・法務・人事・内部統制・安心安全における業務基盤を提供します。

2021年度第2四半期 連結P/L

第2四半期は増収減益。

- ✓ 売上高：情報システムを除く5つの事業セグメントの増加により、増収
 - ✓ 営業利益：樹脂・エレクトロニクス、エネルギーおよび情報システムにおける減少により、減益
 - ✓ 経常利益：営業利益の減少を主要因に、減益
 - ✓ 親会社株主に帰属する四半期純利益：営業利益および経常利益の減少を主要因に、減益
 - ✓ 親会社株主に係る四半期包括利益：その他有価証券評価差額金の減少により、減益
- ※当期より適用の「収益認識に関する会計基準（新収益認識基準）」において、前期までの会計基準と比較した場合の影響額は、売上高は1,369百万円の増加、営業利益は77百万円の増加
- ※2021年度第2四半期の業績予想は非開示

(単位：百万円)

| | FY20 2Q | FY21 2Q | 増減額 | 前年同期比 | FY21 見通し |
|----------------------|---------|---------|---------|---------|----------|
| 売上高 | 34,054 | 39,753 | + 5,698 | + 16.7% | 80,000 |
| 売上総利益 | 6,999 | 7,258 | + 259 | + 3.7% | — |
| (利益率) | 20.6% | 18.3% | ▲ 2.3% | — | — |
| 営業利益 | 552 | 351 | ▲ 200 | ▲ 36.3% | 1,900 |
| 経常利益 | 818 | 692 | ▲ 126 | ▲ 15.4% | 2,500 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 423 | 298 | ▲ 124 | ▲ 29.4% | 1,600 |
| 親会社株主に係る 四半期包括利益 | 2,995 | 1,084 | ▲ 1,910 | ▲ 63.8% | |

COPYRIGHT 2021© MITANI SANGYO CO., LTD.

3

<連結業績>

売上高:397億53百万円(前年同期比56億98百万円増 16.7%増)

営業利益:3億51百万円(前年同期比2億00百万円減 36.3%減)

経常利益:6億92百万円(前年同期比1億26百万円減 15.4%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益:2億98百万円(前年同期比1億24百万円減 29.4%減)

2021年度第2四半期 セグメント別売上高

第2四半期は、情報システムを除く5つの事業セグメントの増加により、増収

- ✓ 化学品：国内・ベトナムにおける化成品販売が増加したことにより、増収
- ✓ 樹脂・エレクトロニクス：車載向け樹脂成形品の需要が回復したことにより、増収
- ✓ 情報システム：前年同期に文教関連案件や基幹システム更新案件の大型受注があったことにより、減収
- ✓ 空調設備工事：首都圏において大型新築工事およびリニューアル工事が順調に進捗したことに加え、ベトナムにおける設計・積算業務の受託が好調であったことにより、増収
- ✓ 住宅設備機器：新収益認識基準を適用し、進捗度に応じて売上を計上する方法に変更したことに加え、首都圏・北陸地区において複数の案件が順調に進捗したことにより、増収
- ✓ エネルギー：石油製品販売価格の上昇および民生用LPガスの需要が回復してきていることにより、増収

(単位：百万円)

| | FY20 2Q | FY21 2Q (うち新収益認識基準影響額) | 増減額 | 前年同期比 |
|-------------|---------|---------------------------|---------|---------|
| 化学品 | 15,322 | 16,448 (▲518) | + 1,125 | + 7.3% |
| 樹脂・エレクトロニクス | 3,260 | 4,073 (▲106) | + 813 | + 25.0% |
| 情報システム | 3,926 | 3,807 (▲47) | ▲ 119 | ▲ 3.0% |
| 空調設備工事 | 5,758 | 6,795 (+9) | + 1,037 | + 18.0% |
| 住宅設備機器 | 3,876 | 5,940 (+1,764) | + 2,064 | + 53.3% |
| エネルギー | 2,272 | 2,707 (▲157) | + 434 | + 19.1% |
| その他 | 807 | 940 | + 132 | + 16.5% |

COPYRIGHT 2021© MITANI SANGYO CO., LTD.

4

<セグメント別の売上高増減額>

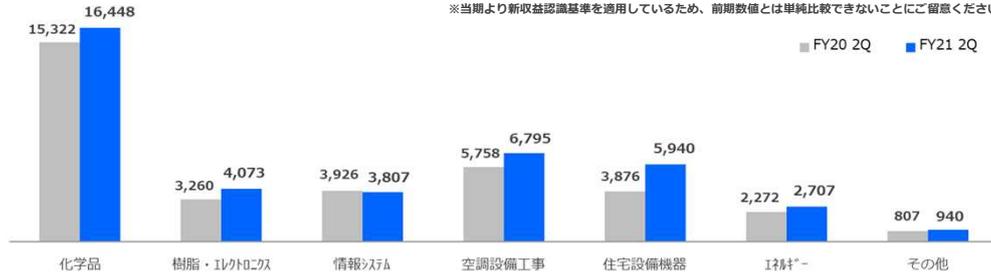
| | |
|--------------|-----------|
| 化学品： | +11億25百万円 |
| 樹脂・エレクトロニクス： | +8億13百万円 |
| 情報システム： | ▲1億19百万円 |
| 空調設備工事： | +10億37百万円 |
| 住宅設備機器： | +20億64百万円 |
| エネルギー： | +4億34百万円 |

2021年度第2四半期 セグメント別売上高

<セグメント別売上高>

(単位：百万円)

※当期より新収益認識基準を適用しているため、前期数値とは単純比較できないことにご留意ください



<構成比>

※セグメント間の内部売上高を含んでおります



COPYRIGHT 2021© MITANI SANGYO CO., LTD.

5

<セグメント別の売上高構成比>

6事業セグメントにおける売上構成比に顕著な変動はありません。

2021年度第2四半期 セグメント別営業利益

第2四半期は、樹脂・エレクトロニクス、エネルギー、情報システムの3セグメントで減少したため、減益

- ✓ 化学品：国内・ベトナムにおける化成品販売が増加したことにより、増益
- ✓ 樹脂・エレクトロニクス：新型コロナウイルス対策費用を大幅に計上したことにより、減益
- ✓ 情報システム：前年同期に文教関連案件や基幹システム更新案件の大型受注があったことにより、減益
- ✓ 空調設備工事：首都圏において大型新築工事およびリニューアル工事が順調に進捗したことに加え、ベトナムにおける設計・積算業務の受託が好調であったことにより、増益
- ✓ 住宅設備機器：首都圏・北陸地区において複数の案件が順調に進捗したことにより、減益縮小
- ✓ エネルギー：原価アップを販売価格に反映しきれなかったことに加えて、人員増強に伴う費用等の発生により、減益

(単位：百万円)

| | FY20 2Q | FY21 2Q (うち新収益認識基準影響額) | 増減額 | 前年同期比 |
|-------------|---------|---------------------------|-------|---------|
| 化学品 | 523 | 602 (なし) | + 79 | + 15.1% |
| 樹脂・エレクトロニクス | 31 | ▲ 163 (なし) | ▲ 195 | - |
| 情報システム | 528 | 487 (▲7) | ▲ 41 | ▲ 7.8% |
| 空調設備工事 | 498 | 563 (+6) | + 64 | + 13.0% |
| 住宅設備機器 | ▲ 282 | ▲ 226 (+108) | + 56 | - |
| エネルギー | 76 | 1 (▲24) | ▲ 74 | ▲ 97.8% |
| その他 | 26 | ▲ 31 | ▲ 58 | - |

COPYRIGHT 2021© MITANI SANGYO CO., LTD.

6

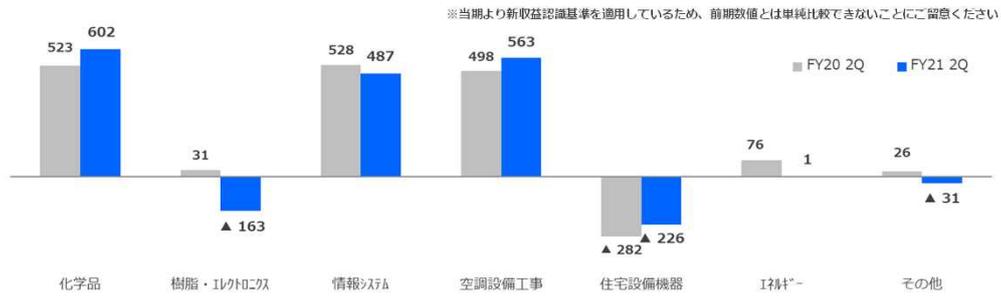
<セグメント別の営業利益増減額>

| | |
|--------------|----------|
| 化学品： | +79百万円 |
| 樹脂・エレクトロニクス： | ▲1億95百万円 |
| 情報システム： | ▲41百万円 |
| 空調設備工事： | +64百万円 |
| 住宅設備機器： | +56百万円 |
| エネルギー： | ▲74百万円 |

2021年度第2四半期 セグメント別営業利益

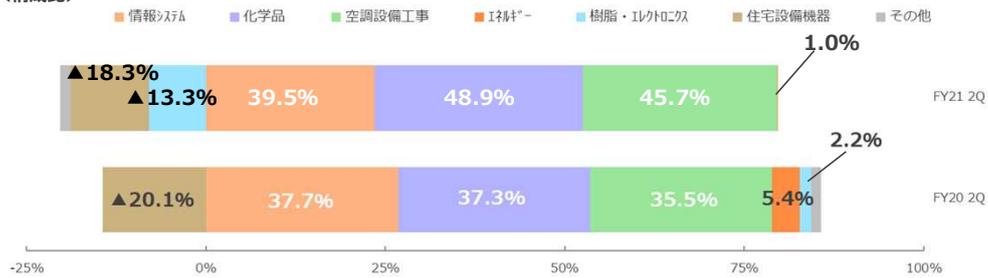
＜セグメント別営業利益＞

(単位：百万円)



＜構成比＞

※セグメント間の内部売上高を含んでおります



COPYRIGHT 2021© MITANI SANGYO CO., LTD.

7

＜セグメント別の営業利益構成比＞

化学品関連事業、空調設備工事関連事業、および樹脂・エレクトロニクス関連事業を中心に構成比が変動しました。

＜セグメント別の状況＞

※営業利益の大きいセグメント順に記載。

〔化学品〕 増収・増益

国内における化成品販売については、顧客の稼働が全般的に増加したことから、売上高は増加しました。

医薬品原薬については、自社製品が堅調であったものの、輸入品・商品の顧客需要が減少したことから、売上高は減少しました。

機能性素材の受託製造については、顧客との取引は堅調であったものの、収益認識会計基準適用の影響により、売上高は減少しました。

環境ビジネスについては、触媒ビジネスの取扱量が減少したことから、売上高は減少しました。

ベトナムにおける化成品販売については、ベトナム北部および南部における既存顧客の稼働が増加したことから、売上高は増加しました。

以上により、全体の売上高は、国内における化成品販売が好調であったことを主要因に前年同期比7.3%増の164億48百万円となり、営業利益は、前年同期比15.1%増の6億2百万円となりました。

なお、化学品関連事業における収益認識会計基準適用の影響額は、以下のとおりです。

- ・売上高:5億18百万円の減少
- ・営業利益:影響なし

〔空調設備工事〕 増収・増益

受注高は、北陸地区において複数の大型新築工事を受注できたものの、前年同期に首都圏において大型新築工事の受注があったことから、前年同期比16.6%減の63億54百万円となりました。

売上高は、首都圏において大型新築工事およびリニューアル工事が順調に進捗したことに加えて、ベトナムにおける設計・積算業務の受託も好調であったことから、前年同期比18.0%増の67億95百万円となり、営業利益は、前年同期比13.0%増の5億63百万円となりました。

なお、空調設備工事関連事業における収益認識会計基準適用の影響額は、以下のとおりです。

- ・売上高:9百万円の増加
- ・営業利益:1百万円未満の増加

〔情報システム〕 減収・減益

受注高は、オリジナルソリューションである「POWER EGG®」の受注が堅調であったものの、前年同期に文教関連案件や基幹システム更新案件の大型受注があったことから、前年同期比24.3%減の49億83百万円となりました。

売上高は、同様の理由により、前年同期比3.0%減の38億7百万円となり、営業利益は、前年同期比7.8%減の4億87百万円となりました。

なお、情報システム関連事業における収益認識会計基準適用の影響額は、以下のとおりです。

- ・売上高:47百万円の減少
- ・営業利益:7百万円の減少

〔エネルギー〕 増収・減益

石油製品については、販売価格は、前年同期に比べ原油価格が大幅に上昇したことから、高い水準で推移しました。また、販売数量については、前年同期並みに推移しました。

民生用LPガスについても、販売価格は、前年同期に比べ堅調に推移しました。販売数量は、新規顧客の獲得が伸長したことに加えて、業務用の需要が回復してきていることから、前年同期を上回りました。

以上により、全体の売上高は、前年同期比19.1%増の27億7百万円となりました。一方、営業利益は、原価アップを販売価格に反映しきれなかったことに加えて、人員増強に伴う費用等が増加したことから、前年同期比97.8%減の1百万円となりました。

なお、エネルギー関連事業における収益認識会計基準適用の影響額は、以下のとおりです。

- ・売上高:1億57百万円の減少
- ・営業利益:24百万円の減少

〔樹脂・エレクトロニクス〕 増収・減益

前年同期においては、新型コロナウイルスの影響による需要減があったものの、当第2四半期連結累計期間においては、車載向け樹脂成形品の需要が回復したことにより、売上高は、前年同期比25.0%増の40億73百万円となりました。一方で、ベトナムにおいては、本年7月から新型コロナウイルス対策のための移動制限やロックダウンなどの規制が強化されており、その対応費用を大幅に計上したことから、1億63百万円の営業損失となりました(前年同期の営業利益は31百万円)。

なお、樹脂・エレクトロニクス関連事業における収益認識会計基準適用の影響額は、以下のとおりです。

- ・売上高:1億6百万円の減少
- ・営業利益:影響なし

〔住宅設備機器〕 増収・減益縮小

受注高は、首都圏においてホテル等の非住宅物件の受注が減少したことに加えて、前年同期に北陸地区において大型の機器販売案件の受注があったことから、前年同期比17.0%減の44億63百万円となりました。

売上高は、収益認識会計基準の適用により、引き渡し完了時に一括して売上を計上する方法から、進捗度に応じて売上を計上する方法へ変更したことに加えて、首都圏・北陸地区において複数の案件が順調に進捗したことから、前年同期比53.3%増の59億40百万円となりました。また、営業損失は、2億26百万円となり前年同期に比べ損失額が減少しました(前年同期の営業損失は2億82百万円)。

なお、住宅設備機器関連事業における収益認識会計基準適用の影響額は、以下のとおりです。

- ・売上高:17億64百万円の増加
- ・営業利益:1億8百万円の増加

2021年度第2四半期 連結B/S

第2四半期は、総資産・純資産ともに減少。自己資本比率は前期から2.2ポイント上がり、49.9%

- ✓ 流動資産：受取手形及び売掛金▲43億32百万円、仕掛品▲13億82百万円を主要因に減少
- ✓ 固定資産：投資有価証券+10億86百万円を主要因に増加
- ✓ 流動負債：支払手形及び買掛金▲19億61百万円を主要因に減少
- ✓ 固定負債：長期借入金+17億32百万円を主要因に増加
- ✓ 株主資本：資本剰余金▲4億11百万円を主要因に減少
- ✓ 純資産：上記株主資本、非支配株主持分▲20億85百万円を主要因に減少

(単位：百万円)

| | FY20 | FY21 2Q | 増減額 |
|------|--------|---------|---------|
| 流動資産 | 39,837 | 36,228 | ▲ 3,609 |
| 固定資産 | 41,846 | 43,019 | + 1,173 |
| 資産合計 | 81,683 | 79,247 | ▲ 2,435 |
| 流動負債 | 30,776 | 27,791 | ▲ 2,984 |
| 固定負債 | 9,771 | 11,828 | + 2,056 |
| 株主資本 | 31,836 | 31,627 | ▲ 208 |

<2021 2Q>

| | |
|----------------|----------------|
| 流動資産 36,228 | 流動負債 27,791 |
| | 固定負債 11,828 |
| 固定資産 43,019 | 純資産 39,627 |

COPYRIGHT 2021© MITANI SANGYO CO., LTD.

8

<連結財政状態>

総資産は792億47百万円となり、前期と比較して24億35百万円減少しました。流動資産は受取手形及び売掛金43億32百万円の減少、仕掛品13億82百万円の減少を主要因に36億9百万円減少し、362億28百万円となりました。固定資産は、投資有価証券10億86百万円の増加を主要因に430億19百万円となりました。

負債は396億20百万円となり、前期と比較して9億27百万円減少しました。流動負債は、支払手形及び買掛金19億61百万円の減少を主要因に29億84百万円減少し、277億91百万円となりました。固定負債は、長期借入金17億32百万円の増加を主要因に20億56百万円増加し、118億28百万円となりました。

純資産は396億27百万円となり、前期と比較して15億7百万円減少しました。株主資本は2億8百万円減少し、316億27百万円となりました。その他の包括利益累計額は7億86百万円増加し、78億88百万円となりました。また、非支配株主持分は20億85百万円減少し、1億11百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は前期の47.7%から2.2ポイント上がり49.9%となりました。

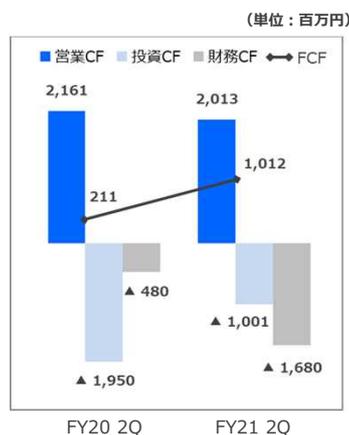
2021年度第2四半期 連結C/F

第2四半期は、営業CFがプラス、投資CFがマイナス、財務CFがマイナス、フリーCFはプラス。

- ✓ 営業CF：税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上、売上債権の減少を主要因に、20億13百万円
- ✓ 投資CF：有形固定資産の取得による支出を主要因に、▲10億1百万円
- ✓ 財務CF：借入金が増減、関係会社株式の取得を主要因に、▲16億80百万円
- ✓ フリーCF：前年同期比8億円増加の10億12百万円

| | FY20 2Q | FY21 2Q | 増減額 |
|-------|---------|---------|---------|
| 営業CF | 2,161 | 2,013 | ▲ 148 |
| 投資CF | ▲ 1,950 | ▲ 1,001 | + 948 |
| 財務CF | ▲ 480 | ▲ 1,680 | ▲ 1,200 |
| フリーCF | 211 | 1,012 | + 800 |

※フリーCF = 営業CF + 投資CF



COPYRIGHT 2021© MITANI SANGYO CO., LTD.

9

<連結キャッシュ・フロー>

「営業キャッシュ・フロー」は20億13百万円の収入となりました。

主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益6億94百万円、減価償却費10億35百万円、売上債権の減少額32億86百万円であり、主なマイナス要因は、棚卸資産の増加額7億50百万円、仕入債務の減少額15億45百万円、法人税等の支払額6億56百万円です。

投資キャッシュ・フローは10億1百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出7億21百万円です。

財務キャッシュ・フローは16億80百万円の支出となりました。主な要因は、短期および長期の借入金の純増額が合わせて12億70百万円、連結の範囲の変更を伴わない関係会社株式の取得による支出25億円、配当金の支払額2億77百万円です。

これらの結果、現金および現金同等物の2021年度第2四半期末の残高は、前期末と比較して6億32百万円減少し、50億8百万円となりました。

また、営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローを足したフリー・キャッシュ・フローは、10億12百万円のプラスとなり、前年同期末と比較して8億00百万円増加しました。

2021年度 連結業績予想（本年4月公表の業績予想から変更なし）

売上高

800億円

前期比

▲ 5億41百万円

営業利益

19億円

▲ 6億67百万円

経常利益

25億円

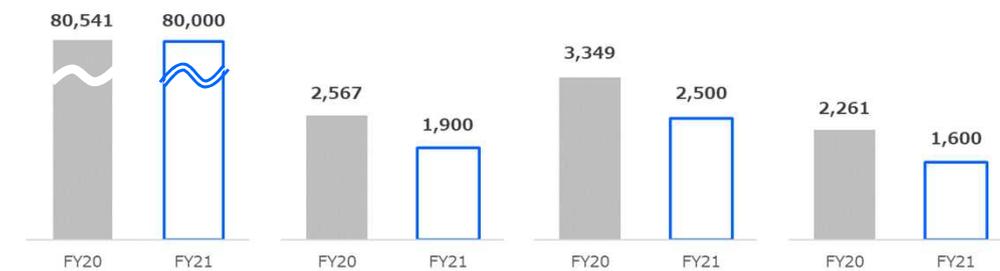
▲ 8億49百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益

16億円

▲ 6億61百万円

(単位：百万円)



COPYRIGHT 2021© MITANI SANGYO CO., LTD.

10

<通期連結業績見通し>

通期連結業績見通しについては、本年4月28日に公表した業績予想から変更はありません。

売上高は前期比5億41百万円減少、0.7%減の800億円

営業利益は前期比6億67百万円減少、26.0%減の19億円

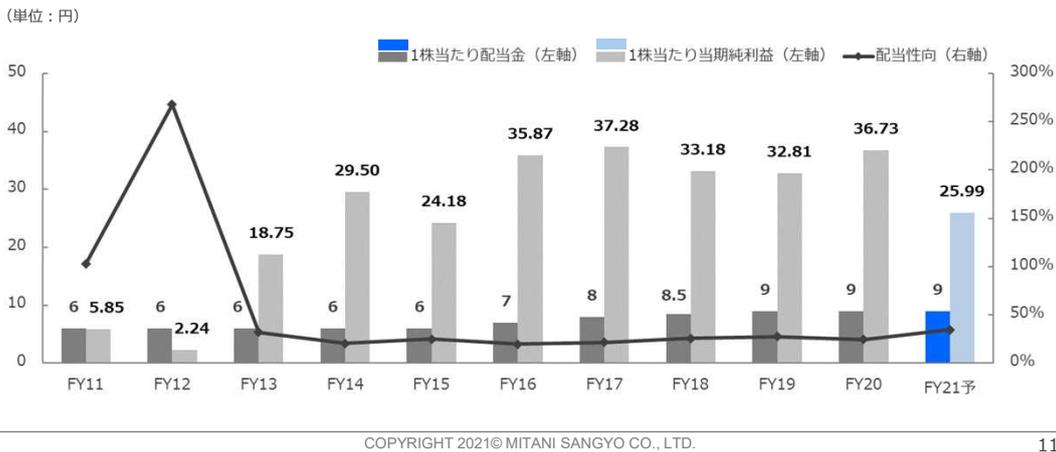
経常利益は前期比8億49百万円減少、25.4%減の25億円

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比6億61百万円減少、29.3%減の16億円

今期業績予想は、収益認識会計基準の適用により、売上高で約20億円の減少が見込まれること、新型コロナウイルスの社会・経済的な影響が当社の想定以上に悪化することがないことを前提としております。

配当方針

継続的な安定配当を実施するとともに、企業体質の強化と将来の事業拡大に備えるため、必要な内部留保を確保していくことを基本方針としております。内部留保資金については、将来の事業拡大に伴う運転資金、既存事業の拡大および新規事業の開発に伴う投資資金として有効活用していきたいと考えております。この基本方針のもと、将来の事業拡大に向けたオリジナル製品の開発、ベンチャー企業との連携や協業、その他新規ビジネス創出などに取り組みました。現状の利益水準、中期経営計画の進捗状況等を踏まえ総合的に検討しました結果、中間配当金を1株当たり4円50銭としました。2021年度の1株当たり配当金は年間9円（中間4円50銭、期末4円50銭）を計画しています。



<配当方針>

継続的な安定配当を実施するとともに、企業体質の強化と将来の事業拡大に備えるため、必要な内部留保を確保していくことを基本方針としております。内部留保資金については、将来の事業拡大に伴う運転資金、既存事業の拡大および新規事業の開発に伴う投資資金として有効活用していきたいと考えております。

この基本方針のもと、将来の事業拡大に向けたオリジナル製品の開発、ベンチャー企業との連携や協業、その他新規ビジネス創出などに取り組みました。

現状の利益水準、中期経営計画の進捗状況等を踏まえ総合的に検討しました結果、中間配当金を1株当たり4円50銭としました。2021年度の1株当たり配当金は年間9円（中間4円50銭、期末4円50銭）を計画しています。